

久米島町

豊かな自然と、暮らしに必要な施設がそろった「暮らす島」
琉球王国時代、交易の拠点だった「歴史文化の島」
海洋深層水など新しいことにも取り組む「成長する島」



久米島町生活基盤情報

1) 移住・定住支援制度

1. こどもの医療費助成（中学生卒業まで）
出産助成金／出産奨励金

2) 生活環境

<交通>

車/路線バス/タクシー

<お買い物>

スーパー/ドラッグストア/コンビニ(24h)
宅配生協/ホームセンター/家電店など

<医療>

病院1施設(24h救急外来対応)/診療所1施設
※常設診療科は「内科」「小児科」のみ
その他の科は週1～4日開設

<子育て>

子育て支援センター/ファミリーサポートセンター
保育機関5施設/小学校6校/中学校2校/
高校1校

<待機児童数>

0名(4月時点)

※年度途中入所の場合は待機の可能性あり

3) 交通アクセス

那覇から飛行機で30分/フェリーで3～4時間



担当: 島ぐらしコンシェルジュ
大竹 太平(おおたけ たいへい)

所属: 久米島町役場企画財政課
電話: 098-894-6488

✉: info@shimagurashi.net

HP: 「久米島 島ぐらしガイド」で検索!

地域おこし協力隊・その他求人募集情報

久米島町では、令和2年度4月着任
以下の二職種地域おこし協力隊を募集しています。

1. 離島留学生寮ハウスマスター
島外からくる高校生の生活をサポートする仕事です。
 2. 移住定住促進コンシェルジュ
(島ぐらしコンシェルジュ)
- そのほか島内の求人情報多数

先輩移住者紹介

上山 亜紗実(かみやま あさみ)

出身: 神奈川県

職業: 離島留学生寮ハウスマスター

島内の保養施設でのボランティアで久米島に何度も足を運ぶうちに久米島が好きになり、今年4月に移住しました。現在は高校生達の日々の生活を見守るハウスマスターとして働いています。



1月17日～19日 詳細はブースにて!
移住体験ツアー実施します

今回は、地域おこし協力隊の先輩移住者と共に参加します。協力隊を利用する移住のほかにも、様々な求人情報や島でのリアルな暮らし、移住体験ツアーなどもご案内できればと思いますのでお待ちしております!